

三鷹市・株式会社筑摩書房主催

## 〈文学講演会〉

# 言葉の不思議

講師：歌人 穂村 弘さん



事前申込  
入場無料

定員 200名  
(予定)

令和8年

2月8日(日)

午後2時～3時30分(開場1時30分)

## 三鷹市芸術文化センター 星のホール

- ▶ JR三鷹駅南口2番バスのりばから3つ目「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ
- ▶ または6・7番のりばから「八幡前」下車1分
- ▶ または徒歩約15分

申込方法：以下の（1）または（2）から申し込み

申込締切：令和8年1月5日(月) 午後5時 ※はがきは必着

### (1) 申し込みフォーム

インターネットからは、右のQRコードか  
下記URLからお申し込みください。  
<https://logoform.jp/f/rXgc3>



### (2) 往復はがき (1組1通。1組4人まで)

往復はがきに以下事項を記入し申込先へ  
①「文学講演会」と明記  
②代表者の氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号  
③参加希望者の総人数(代表者を含む)  
④同伴者全員(3人まで)の氏名・年齢  
⑤車いす席が必要な場合、「車いす」と「必要席数  
(会場の都合により2席まで)」を明記  
⑥返信面に、代表者の宛名と住所(返信切手85円)  
▶申込先：〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1  
三鷹市 芸術文化課

※申込多数の場合は抽選し、いずれの申込方法に  
おいても全て、当落結果を1月下旬に通知予定

## 講演テーマ 言葉の不思議

「きびしい半ケツが出ました」「でも、さっきそうおっしゃったじゃねえか！」「ドアストッパーが隕石と判明」「北朝鮮の宇宙飛行士太陽に着陸成功」「南極で初の殺人未遂 読んでいる本のネタバレされて」「水族館でサメの盗難事件発生 ベビーカーに入れて赤ちゃんに見せかける」『キニキリームキロッキ』など、日常の中で出会った不思議な言葉について、またそこから紙一重とも思える詩歌の構造や魅力について、考えてみたいと思います。

## 講師プロフィール

歌人。一九九〇年、歌集『シンジケート』でデビュー。短歌をはじめとして、評論、エッセイ、絵本、翻訳などを手がける。『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』『水中翼船炎上中』『世界音痴』『本当はちがうんだ日記』『によっ記』『彗星交叉点』『蛸足ノート』『短歌の友人』『短歌ください』『短歌のガチャポン』等著書多数。伊藤整文学賞、講談社エッセイ賞、若山牧水賞、アルスエレクトロニカ栄誉賞他を受賞。日経新聞歌壇選者。

### 【お問い合わせ先】

三鷹市スポーツと文化部芸術文化課 電話：0422-29-9861  
※文学講演会当日：三鷹市芸術文化センター 電話：0422-47-9100